

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	るーぺ			
○保護者評価実施期間	2026/5/1 ~ 2026年5月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2026/5/25 ~ 2026年5月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/5/31			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に合わせた支援。設問5は「はい」13件。特性に合わせたトレーニングや成長を感じるとの意見がありました。	保護者から、個々の特性に合わせた支援が受けられていると評価をいただきました。	支援のねらいや成長の様子を、ご家庭と継続して共有します。
2	多様な活動プログラム。設問10は14件すべて「はい」。調理、運動、外出等の企画を楽しみにしている声がありました。	保護者から、活動の種類やこどもたちの参加の様子が好意的に受け止めていただきました。	こどもの関心や季節に合わせて活動を工夫し、様子やねらいも発信します。
3	支援への満足度。設問29は「はい」13件、「どちらともいえない」1件。活動発信や送迎への感謝の意見がありました。	活動内容の写真・文章での発信や送迎等の柔軟な対応が役立つとの声をいただきました。	情報発信とご家庭との連携を続け、送迎等の個別相談に対応します。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	善に向けて必要な取組や工夫が必要な点
1	活動環境の見えやすさ。設問3に、普段の活動場所を見ていないため判断しにくいとの意見がありました。	活動中の空間や設備への配慮が、保護者に伝わりにくい可能性があります。	活動の様子や環境設定を具体的に共有し、見学等のご希望も伺います。
2	地域・きょうだいとの交流機会。設問11は「はい」4件、「わからない」6件。設問18も「わからない」6件で、きょうだい交流への希望がありました。	地域交流の実施状況や、きょうだい向け支援の情報が伝わりにくく、参加ニーズもあります。	活動内容を共有し、きょうだいを含む家族の希望を伺って、実施可能な交流機会を検討します。

3	連絡への返信の速さ。設問20に、必ず返信はあるがメールの返信に時間がかかる場合が気になるとの意見がありました。	返信までの見通しを持ちにくい場合があります。	返信が遅れるときは、受領連絡と回答予定を先に伝える方法を検討します。
---	---	------------------------	------------------------------------

公表 者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	るーべ
------	-----

公表日 2026/5/31

利用

児童数

27

回収数

14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1				事業所の構造を活かした活動の目標を設定し、療育を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		2	・普段活動の様子を室内で見ることがないためわからないです。 ・事業所の設備に適性のある利用者が通所していると思われる、本人も私も安定して通っているため適切になされているかと思っています。	活動によって場所を変えるなど環境は構造化に努めておりますが、ご見学の機会を設けるなどご理解いただけるような方法を検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13			1		//
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			・良く話を聞いてくれた上で指先のトレーニングやビジョントレーニング等、特性に合わせて取り入れてくれております。 ・こどもに合わせてみてくれるので、成長を感じる事ができます。	有難いお言葉をいただき、大変励みになります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		ご契約時に支援プログラムのご案内も併せて申し添え周知に努めます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2				計画の記載内容の更なるブラッシュアップに努めるようにいたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				毎月、たくさんの企画を計画してくれています。 クッキングや筋トレ、お出かけ等こどもたちも楽しみにし、生き生きと活動しています。	有難いお言葉をいただき、大変励みになります。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	1	6		この質問項目は図書館や公園など公共の施設に行くことができているかを指しますが、公共施設、公共交通機関を利用し社会性を育むことを行い、そういった活動に力を入れております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1				こちら情報提供からでも機会を提供できるよう検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				共通理解を計れるよう努めるようにいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				共感的に支援を行っていきけるよう努めてまいります。□
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	2	6	今のところ兄弟の参加はありません。兄弟向けの支援があるのかなと考えたことはあります。スタッフは兄弟に会う機会があると挨拶や声掛けをしています。	2025年度はこうした機会を設けられませんでした。2026年度にきょうだいの親子工作教室を開催します。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1				相談や申し入れについて速やかにご対応ができるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			必ず返信はしていただけるので、安心ですが、お忙しいと思うので仕方がないのですがメールでのやり取りに時間がかかる時があるので、そこが少し気になります。	ご不便おかけして申し訳ございません、速やかにお返事するよう改善させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14					

保護者への説明等

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		2		定期的に各種訓練を行っておりますが、ご利用曜日によって偏りがあるかもしれませんので配慮するよういたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		安全計画の周知にもより力を入れてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			2		事故等発生した際には速やかにご連絡をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13		1			安心感を持って通所できるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	1		遠いですが子どもが楽しめているので続けられています。	通所を楽しみにしてもらえよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1			・いつも子どものことをよく見てくださり、興味のある事をどんどん引き出してくださいありがとうございます！ ・送迎なども柔軟に対応してくださいいつも助けていただいています！本人も本当の一ぺが大好きでありがたいです。今後ともよろしくお願いします！ ・子どもたちのために楽しいプログラムを考え、計画してくださり、魅力的な活動が多く、私たち保護者もとても嬉しいです。 ・活動内容を写真や文章で、わかりやすく発信してくださり、活動内容を把握出来たり、子どもとの会話の展開のきっかけにつながり、ありがとうございます。これからも子どもたちのために、よろしくお願いします。	温かいお言葉をありがとうございます。お子さまの興味や成長に応じた支援、活動内容の発信、送迎等のご相談への柔軟な対応を続け、ご家族と連携してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026/5/31				
るーべ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			より余裕のある配置ができるといいが、運営上難しい面もあり検討していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		支援に集中はできていたが、広く職員が参加してのPDCAサイクルまでは回せていなかったので次年度は改善したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		情報収集をして機会があれば検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		主にプログラム立案の担当で作成している。今後チームでの立案も視野に支援の研鑽を行っていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	打ち合わせは主に支援前に行い、重要事項以外の共有は支援終了後に行わず、保護者向けの記録作成に重きを置いている。	支援終了後に共有する必要がある事項は必ず行えるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		まだ放デイでそういったケースはないが、学齢によって検討していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		まだ該当するケースがなかったが、今後対応できるよう準備をしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		昨年度は助言をもらう機会がなかったが、今後は検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加の機会を検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ニーズを把握することと、情報提供の機会を設けることから検討していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		ニーズを把握し、保護者の交流の機会を設ける検討から行っていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民との交流はまだ持っていないが、何か参画する機会から検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			